

キーボックス

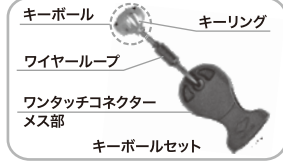
この装置は、接続した伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込まれている圧縮バネと針が運動し、カートリッジポンベの底部(封板)に穴を開けて炭酸ガスを送り、作動させます。着用時、前方どの方向から引っ張られてもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

警告 ▲ キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。



キーボール

キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が運動してカートリッジポンベの封板に穴をあけ、エアバッグ(気室)が膨らみます。キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



CO2カートリッジポンベの取扱い

- カートリッジポンベ内には炭酸ガス(CO2)が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と運動し、カートリッジポンベの底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジポンベ内のガスを各気室へ送り込みます。
- 一度作動(使用)したカートリッジポンベは使用できません。(使用済カートリッジポンベは底部(封印板)に穴が開いています)未使用の新しいカートリッジポンベとお取り替え下さい。
- カートリッジポンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りない針がカートリッジポンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアバッグが膨らんでも数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。カートリッジポンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守ってください。破裂の危険性があります。

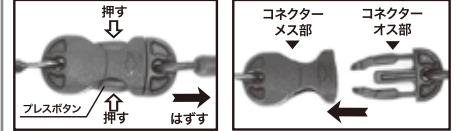
- 警告** ▲ 1.カートリッジポンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中などでの保管はおやめください。)
- 警告** ▲ 2.カートリッジポンベに強い衝撃を与えないで下さい。
- 警告** ▲ 3.カートリッジポンベを加熱しないで下さい。
- 警告** ▲ 4.カートリッジポンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。
- 警告** ▲ 5.使用済のカートリッジポンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。
- 警告** ▲ 6.カートリッジポンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。
- 警告** ▲ 7.モデルによってカートリッジポンベのサイズ(容量)が異なります。交換の際は必ずモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ポンベサイズ表」を参照下さい。www.hit-air.com
- 注意** ▲ 8.ヒットエア以外の用途で使用しないで下さい。
- 注意** ▲ 9.ヒットエア製カートリッジポンベ以外は使用できません。
- 注意** ▲ 10.子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。
- 注意** ▲ 11.通常時(使用時)は、セットしたカートリッジポンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。
- 注意** ▲ 12.再生作業等でカートリッジポンベを外した場合は、カートリッジポンベをキーボックスに取付ける際、根元までしっかりとねじ込んで下さい

ワンタッチリリース

ヒットエアには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。



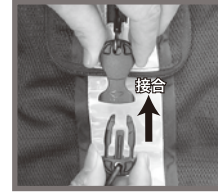
ワンタッチリリース



ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、ヒットエアの起動装置キーボックスにセットされたキーボールと接合するパーツです。

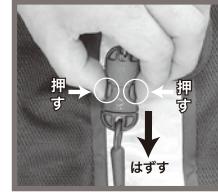
乗車時

走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。



降車時

バイクから降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音をお降り下さい。



- 注意** ▲ 1.乗降時・走行時にワンタッチリリース(コネクター)などがバイクのタンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等による保護をお勧めします。
- 注意** ▲ 2.接合する際は、挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。
- 注意** ▲ 3.オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行くと、外せなくなる事や自然に外れる場合があります。
- 注意** ▲ 4.降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分やマフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。